

2021年10月24日 聖霊降臨後第二十二主日礼拝説教  
「あなたに問いかける救い主」(マルコ10章46～52節)

○マルコ10章46～49節について

救い主イエスが、エルサレムへと向かうため、エリコの町を出ようとされたとき、「バルティマイという盲人の物乞いが道端に座っていた」(46節)。彼は、キリストが通られるのを聞き、「わたしを憐れんでください」(47節)と叫び始めた。

☞ 周りにいる人たちは、バルティマイを叱り、黙らせようとしたが、彼は諦めることなく、神の子イエスに「わたしを憐れんでください」(48節)と強く訴え続けた。

☆ 人々はバルティマイの叫びを止めようとしたが、救い主イエスは彼の声に足を止められ、願いを聞き入れられた。

「イエスは立ち止まって、『あの男を呼んで来なさい』と言われた。」(49節)

※ キリストだけに心を向け続けたバルティマイの信仰と彼の思いを受け止められたキリストの憐れみを覚えよう。

今日のみことば：マルコ10章51節

「イエスは、『何をしてほしいのか』と言われた。」

神の子イエスに呼び出されたバルティマイは「躍り上がってイエスのところに来た」(50節)。そして「何をしてほしいのか」の問いに、「目が見えるようになりたい」(51節)と答えた信仰のとおり、彼の眼は開かれ、神に従う者となった。

「盲人は、すぐ見えるようになり、なお道を進まれるイエスに従った。」(52節)

☞ 救い主イエスは、「わたしを憐れんでください」と叫ぶあなたの声に耳を傾けて、あなたの願いを知ろうとされ、「わたしに、何をしてほしいのか」と尋ねられる。

問：あなたは、いま「何をしてほしい」と答えますか？

※ わたしたちも、バルティマイのように、神の子イエスの愛と憐れみを信じ、この方の力と助けに依り頼み、上から与えられる神のみわざを、待ち望んでいこう。

「行きなさい。あなたの信仰があなたを救った。」(52節)